

新技術交流イベント in Shizuoka 2024

開催概要

名称	新技術交流イベント in Shizuoka 2024 ～カーボンニュートラル&i-Con2.0～
目的	<ul style="list-style-type: none">建設現場のニーズと企業等が保有する技術シーズのマッチングを図ることにより、建設現場の課題解決が可能な先進技術の現場導入を推進し、生産性の向上につなげます。建設技術や建設産業の魅力を広く紹介し、将来の担い手確保につなげます。
日時	令和6年11月13日（水） 10：00～16：30
会場	静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ 1階大ホール・海 屋外広場
主催	静岡県 (事務局：静岡県 交通基盤部 建設経済局 技術調査課（建設技術監理センター）)
対象	建設関係企業、建設コンサルタント、研究機関、官公庁、一般

出展募集技術

- 5分野13の技術テーマから出展技術を募集します。
- 技術テーマ及び現場ニーズの具体例は、次ページ以降を参照してください。
- 技術テーマに沿っていれば、現場ニーズの具体例に沿っていない技術でも応募可能です。
- 今年度は、SX（サステナブルトランスフォーメーション）の活用に関する技術と県産技術を特に求めます。
- 会場の広さに限りがありますので、出展技術の内容を鑑み、事務局で出展者を選定する場合があります。
- Metaverse SHIZUOKA内へ出展希望の企業様、又は屋外展示ブースへ出展希望の企業様は、出展を優先させていただきます。

分野1. SX技術
(サステナブルトランスフォーメーション=持続可能な社会への変革)

分野2. ICTを活用した
省力化・省人化

分野3. 設計・施工・
維持管理・予防保全の効率化

分野4. 工事現場の
安全環境・作業環境の改善

分野5. 「ふじのくに活用
促進技術」

応募要領

応募資格	<ul style="list-style-type: none">自社で開発した技術を保有する企業、団体又は個人とします。複数の構成員での応募も可能です。知的財産権を侵害している技術及び展示物の出展を禁止します。
応募方法	<ul style="list-style-type: none">ふじのくに 電子申請システムにて応募 https://apply.e-tumo.jp/pref-shizuoka-u/offer/offerList_detail?tempSeq=12999
応募期間	<ul style="list-style-type: none">令和6年8月1日（木）～9月13日（木）17時まで

新技術交流イベント in Shizuoka 2024

～カーボンニュートラル&i-Con2.0～

出展団体 募集中

お申込み・
お問合せは
こちらから！



出展募集期間

8月1日(木)～9月13日(金)

出展
無料

屋外広場への出展希望者様は優先させていただきます

建設現場のニーズと企業等のシーズのマッチングを図ります！

今年は、Metaverse SHIZUOKAでも本イベントを開催いたします！
metaverse内に出展希望の企業様は、会場でのブース出展を優先させていただくことができます。

Metaverse SHIZUOKAとは



静岡県を丸ごとスキャンした3次元点群データ(VIRTUAL SHIZUOKA)を活用し、静岡県を8つのエリアに分けたメタバース空間「Metaverse SHIZUOKA」を構築したもの。

メタバース静岡

検索



日時

2024年11月13日(水) 10:00-16:30

会場

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ
1階 大ホール・海 屋外広場

主催

静岡県

お問合せ

静岡県 交通基盤部 建設経済局 技術調査課 (建設技術監理センター)
TEL: 054-268-5004 E-mail: gijyutsu-center@pref.shizuoka.lg.jp

No.	技術テーマ及び現場ニーズの具体例 1 / 4
-----	------------------------

今年度の重点分野
分野 1.
SX技術（サステナブルトランスフォーメーション＝持続可能な社会への変革）

**技術テーマ1. 建設分野におけるCN技術、建設・防災DX技術、
建設RX技術、GX技術、ブルーカーボン・グリーンカーボン技術**

1	生産性向上と併せたCNを実現する技術 プレキャスト化を推進する技術 工事監理の高度化による合理化（ダンプの待ち時間短縮、戻りコンの縮減等） 資機材調達の地産地消化
2	利用可能な低炭素材料の活用を促進する技術 木材、低炭素コンクリート、環境配慮型アスファルト合材、電炉鋼材 等 （高炉セメント等の再評価含む）
3	低炭素建設機械の導入促進、低炭素燃料（バイオ燃料等）の活用促進
4	革新的建設機械（電動、水素、バイオ等） 革新的建設材料（CO2吸収コンクリート、ゼロカーボンスチール）などの技術
5	CO2削減に資する取組の削減効果を定量的に算出・評価可能な技術 （工程・工種ごとのCO2排出量を見える化）
6	LCC全体を通じて維持管理が省力化・効率化されるなど、省CO2に資する計画・設計手法

参考 CN（カーボンニュートラル）技術
DX（デジタルトランスフォーメーション）技術
RX（ロボティクス・トランスフォーメーション）技術
GX（グリーントランスフォーメーション）技術
ブルーカーボン（藻場・浅羽等の海洋生態系に取り込まれた炭素）技術
グリーンカーボン（陸上の植物が大気中のCO2を吸収して光合成反応により作り出す有機炭素化合物）技術

※注意
今年度のブース出展については、
重点分野
分野 1.
SX技術（サステナブルトランスフォーメーション＝持続可能な社会への変革）
の出展を行う団体を優先させていただきます。

No.	技術テーマ及び現場ニーズの具体例 2 / 4
分野 2. ICTを活用した省力化・省人化	
技術テーマ 2. 調査・測量・設計業務の生産性向上を図るICT関連技術	
7	無人ドローン等による効率的な測量技術
8	道路や橋梁の維持管理・点検の効率化・簡素化が可能となる技術
9	既知の座標点を現場に示すことができる測量機器・技術
10	水中地形を効率的に計測する技術
11	地質情報を 3次元化する技術
技術テーマ 3. 施設点検業務の効率化を図るICT関連技術	
12	道路法面等の不安定岩塊を抽出する技術
13	構造物の点検技術
技術テーマ 4. 施工・維持管理の生産性向上を図るICT関連技術	
14	作業員の負担を軽減するパワードスーツ
15	レーザーによる寸法測定により出来形管理を効率化する技術
16	配筋の検査・立会を効率化する技術
技術テーマ 5. 3次元点群データの有効活用により業務・工事の効率化を図る技術	
17	管渠内の 3次元点群データを取得する技術
18	3次元点群データの閲覧・計測を容易に行うことが可能な技術
19	高精度の点群データを取得・生成できるデータ処理技術
20	丁張レス施工が可能な技術
分野 3. 設計・施工・維持管理・予防保全の効率化	
技術テーマ 6. 調査・設計業務の精度向上を図る技術	
21	既設鉄筋位置を高精度で探査する技術

No. 技術テーマ及び現場ニーズの具体例 3 / 4

技術テーマ7. 施工の生産性向上を図る技術

- | | |
|----|---------------------------|
| 22 | 仮締切や仮栈橋の施工性向上技術 |
| 23 | 既設鋼橋の塗装に関する技術 |
| 24 | 狭小現場でも施工可能な地盤改良技術 |
| 25 | コンクリート打ち継ぎ・仕上げ作業を効率的に行う技術 |
| 26 | コンクリート打継目処理の効率化が可能な技術 |
| 27 | 狭所でも設置可能な簡易組立足場 |

技術テーマ8. 維持管理の効率化を図る技術

- | | |
|----|----------------------------|
| 28 | 河川や道路の効率的かつ経済的な除草・防草技術 |
| 29 | 路面補修を簡便に短時間で行うことが可能な技術 |
| 30 | ボーリング水抜き孔の孔内洗浄を効率的に実施できる技術 |
| 31 | コンクリート構造物のはく落防止技術 |
| 32 | 既設擁壁の低コストな補強技術 |

技術テーマ9. 施設点検業務の効率化を図る技術

- | | |
|----|-------------------------|
| 33 | 道路付属施設の劣化状態を非破壊で評価できる技術 |
| 34 | 管渠の老朽化・漏水箇所を簡易に調査可能な技術 |

分野4. 工事現場の安全環境・作業環境の改善

技術テーマ10. 交通誘導に関する新技術

- | | |
|----|------------------|
| 35 | 交通誘導業務を支援する技術 |
| 36 | 交通規制中の追突事故を減らす技術 |

技術テーマ11. 公衆災害を防止する技術

- | | |
|----|---------------------------|
| 37 | 地下埋設物や地下空洞の探査を簡易で高精度に行う技術 |
| 38 | 安全な除草に関する技術 |

技術テーマ及び現場ニーズの具体例 4 / 4	
39	ダンプトラックの積載重量を容易に計測する技術
技術テーマ12. 労働災害を防止する技術	
40	重機と労働者が安全に働くことのできる技術
分野5. 「ふじのくに活用促進技術」	
技術テーマ13. 「ふじのくに活用促進技術」	
41	「ふじのくに活用促進技術」